

鍋割山・小丸尾根

山行日：2024：3：2

参加者：7名

天候：晴れ後曇り

コース：渋沢駅/7:30 - 県民の森/7:40 - 二股/8:15 - 登山口 8:25 - P745m/9:00
- 稜線小丸分岐/11:05 - 鍋割山/11:50 - 後沢乗越/13:10 - 栗ノ木洞/13:50
- クヌギ山/14:05 - 寄 BS/15:20

前日まで降雨があり場合によっては積雪があった場合、行動時間が長くなることも考慮して、出発を30分早めた。渋沢駅からタクシーで県民の森へ。駅から見た真っ白な富士山は青空に映えていたので期待を大に



二股のすぐ先が小丸尾根の登山口。多くのハイカーは後沢乗越へ向かってゆく

最初はジグザグに急登が少しあるがやがて伐採林運搬用林道が多く交差している尾根道を



植林帯に入る手前でふと見上げると「カモシカ」がこちらを凝視していた。このエリアで初めて出逢った。



植林帯の急登をこなして小丸尾根に乗る



右植林帯、左広葉林帯の尾根をシグザグに快適に



小丸尾根唯一のヤセ尾根通過



馬酔木帯をシグザグにさらに上へ



秦野盆地が一望、左は大倉尾根右は鍋割山南尾根。真ん中の急登尾根を登って来た



小丸尾根分岐に出た



丹沢の盟主、蛭ヶ岳が見えている



稜線は寒風が吹き抜けており休まず鍋割山へ



小丸尾根の斜度は後ろの大倉尾根斜度で比較できる



檜洞丸～臼ヶ岳間に見えていた高山は
大菩薩嶺、小金沢連嶺右手前台形は百蔵山か



天気予報通りに曇り空に時々ちらほら雪も



まずは集合写真 Aさんは寝坊して不参加のはずだったが



寒空の中早々に食事後下山開始5分後、Aさんが大倉9時着で鍋割山へ登ってきたのにはビックリ。鍋割山へ登りすぐに引き返し我々に追いつくとのこと。実際に4時間ほほ休みなしで行動し後沢乗越で合流した。



これより高度 100m の登り返し



小さなアップダウン後の急登はかなりしんどい体力勝負



ハイカーは少ないので登山道は荒れている



登り返しは結構厳しかったが栗ノ木洞は平坦



しばし休憩し、明るい尾根のクヌギ山へ向かう



ようやく全員揃って



一気に 300m の急降下



緩やかな尾根になると林道へは間もなく



県民の森へつながっている林道へ降り立つ



鍋割山南尾根最先端ルートは踏み跡うすく直進する。



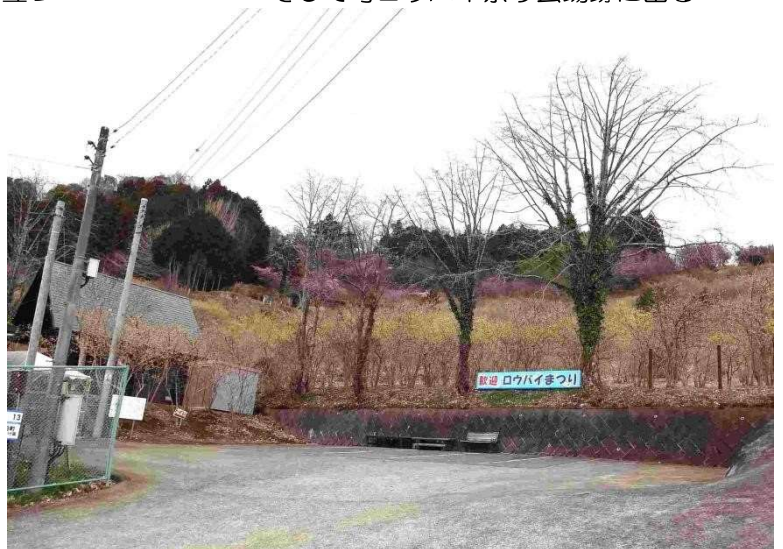
新しい林道が交差しておりコース案内板に従って



やがて土佐原集落の茶畑に出て更に林道に降り立つ



そして寄ロウバイ祭り会場跡に出る



バス発車 15分前に無事、寄バス停に到着

